

尾長
会報**ともしび**

地域で作る福祉の町

発行・文責 地区社協広報部

町内会加入世帯数 4,793 世帯

令和3年度 尾長地区連合町内会
尾長地区社会福祉協議会 総会

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、昨年度に引き続き、今年度の総会も書面審査となり、全ての議案は承認されました。

尾長地区連合町内会「会則の改正」

新型コロナウイルス感染拡大によって、行事・会議等が中止、延期され、自粛要請が続く中、昨年に続き再度「緊急事態宣言」が発令され、外出もままならず生活様式も一変しています。こういった状況の中、尾長地区連合町内会・社会福祉協議会合同総会も、昨年に続き中止せざるを得なくなり、書面審査をお願いすることになりました。

自粛中



連合町内会におきましては、今回、「会則の改正」という大きな議案を審議していただく予定でしたが、直接説明ができない状況となりました。改正案を提出した主な理由としましては、役員の人材確保について、構成員のみならず「関係団体」からも人選できるよう範囲を広げることによって改正したものでございます。構成員の皆様におかれましては、改正案にご賛同・ご理解をいただくとともに、今後ともご協力をいただきたいと思います。



◆ コロナに負けない

今後、高齢者・若い人へのワクチン接種が早期に完了し、新型コロナウイルスの感染拡大が早く収束することを願うばかりです。

皆さんもいつも通りの生活を取り戻せる日を心待ちにしておられることと思います。それまで一致団結してこの苦境を乗り越えましょう。

尾長地区連合町内会 会長 原田幹太

皆の絆で乗り越えましょう

令和3年度総会も昨年と同様に中止（書面審査）となりました。広島も緊急事態宣言が発令され、感染者の増加や医療現場のひっ迫する中、地域活動も殆ど中止となり、ステイホームでテレビの情報を見て過ごす毎日です。特に子どもたちや高齢者の方々は、怖さと不安で体調を崩されていないか心配です。

尾長地区社協が何年も取り組んできた「高齢者等安心見守りネットワーク」「ボランティアバンク」も自粛要請で活動休止となっておりますが、希望される高齢者への電話による安否確認の活動は民生委員を中心に続けております。



手洗いを忘れず

登録された高齢者の方の「守られているようで嬉しい」「元気が出ます」などの言葉に、役に立っているなど実感しました。コロナ禍での「さりげない見守り」「ご近所の困っている方への声掛け」が出来ていたかなどを、今後検証し、活動の修正をしていきたいと考えています。

これからオリンピックの開催が間近ですが、開催が決まった時のワクワク感も一変しました。ワクチン接種に期待し、コロナ後の新たな社会生活また地域活動を考えて行きたいと思っています。今年度もコロナに振り回されて想定外の社会生活を送って行くことになると思いますが、皆さんの絆で乗り越えたいと思います。



コロナに負けない

今年度のご理解、ご協力をお願いいたします。

尾長地区社会福祉協議会 会長 石田三枝子



令和3年度（2021年度）

広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式

今年度、広島市平和記念式典における献花の広島市民代表として、尾長地区からは片河町内会の松永美智子さんが参列されます。



二葉中学校長就任のご挨拶



令和3年4月、二葉中学校長を拝命し、赴任して参りました橋本です。よろしくお願いいたします。

二葉中学校は220名の新入生とともに758名の生徒と98名の教職員でスタートしました。これからも引き続き、「地域を愛し、地域に愛される二葉中学校」づくりを目指して日々取り組んで参りたいと考えていますので、皆様の御支援と御協力を賜りますようお願いいたします。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「集中対策」や「緊急事態宣言」による感染防止対策「レベル3」での対応により、これまで通りの授業や部活動、学校行事を行うことができなくなり、生徒や保護者の皆様、地域の皆様には大変ご苦労をお掛けしています。誠に申し訳ございません。

しかし、生徒一人ひとりが「今できること」「今しかできないこと」をしっかり意識して過ごしてきていることに大変感謝し、このような生徒たちが私たち教職員の誇りでもあります。

今年度も「二葉中学校の合い言葉 3F」「Family 家族のような絆」「Friendly 思いやり・優しさ」「Future 未来づくり」を二葉中学校の一人ひとりが大切にしていってほしいと思います。まだ、いろいろな場面での制約があり、「新しい生活様式」の中で過ごす日々が続いていきますが、私たち教職員は、すべての生徒がしっかりと夢を語り合い、『夢の実現』を目指して「聴き合い 学び合う」ことができる教育を心掛けていきます。

地域の皆様、生徒一人ひとりの『夢の実現』を目指す二葉中学校への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

広島市立二葉中学校 校長 橋本 忍

尾長小学校長就任のご挨拶



本年度から、尾長小学校の校長を拝命した堤 信之です。

これまで生徒指導主事として4年間、教頭として3年間、尾長小学校で勤務しました。地域の皆様にたいへんよくしていただきました。地域の皆様に育てていただき、教師として成長することができたと心から感謝しております。

今度は、校長として微力ではありますが、「日本一の町づくり」の一翼を担わせていただけたらと思っています。

本年度、尾長小学校は「認め合う学校」を目指しています。「それいいね!」「頑張ってるね!」「かっこいいね!」と大人も子どもも、みんながお互いの頑張りを認め合える学校づくりに取り組んでいます。認め合う言葉が、学校内外に響き渡り、尾長の町のさらなるパワーになることを願っています。

「違いを豊かさに」この言葉を胸に、今年度も精いっぱい頑張ります。皆様、尾長小学校の強力なサポーターとして、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

広島市立尾長小学校 校長 堤 信之



二葉中



尾長小

「高齢者等安心見守りネットワーク」情報

「高齢者等安心見守りネットワーク in 尾長」の活動を開始してから、8年が経ちました。尾長地区の見守り活動の目玉は、希望される登録者に、電話で安否確認をしていることです。発足時は、コロナ禍を想定していませんでしたが、できるだけ接触を避けた形で「つながりを切らない・高齢者を孤立させない」活動は、高齢者の安心安全につながっています。高齢者の集いの場（サロン・いきいき百歳体操グループ）は、自粛期間がありました。散歩途中や買い物ついでに参加者どうしが「元気？」と声かけをしていると聞いています。ちょっと顔を合わせてあとは電話で長話。感染予防をしながらも、住民同士の「気にかけてあう」関係が日常生活中にありました。ワクチン接種が終わっても、感染対策をしながらの生活はしばらく続きます。まずは、ご近所さんを気にかけてあう、そして困りごとは小さいうちに早めに対処する。そういう積み重ねが、尾長地区で元気で暮らしていくコツだと思います。

二葉地域包括支援センター 小川智美